

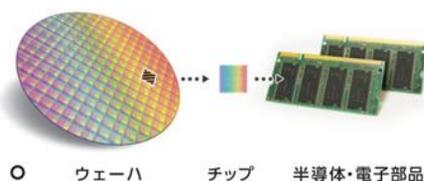
半導体の進化は、
ディスコとともに。



<ディスコとは>

- 半導体の精密加工装置&ツールで世界トップシェア
- メカ/エレキ/ソフト/化学/材料など、幅広い専攻の出身者が活躍中
- 従業員の働きやすさ、待遇面の充実を図っており、前年度約17.5ヶ月の賞与や43%の経常利益率を実現
- 社内通貨などユニークな制度 / 信州大学卒業生が約30名在籍

Kiru Kezuru Migaku
「切る」「削る」「磨く」技術で、
半導体や電子部品の進化を支えます。



ディスコの技術は、ものづくりに不可欠な「切る」「削る」「磨く」の加工に特化しています。スマートフォン、ICカード、薄型TV、自動車等の中で機能している「半導体」「電子部品」の材料となる素材をおもに加工しており、シリコン、サファイア、ガリウム砒素など加工対象は多岐に渡ります。

Kiru

小さく切り分ける技術(ダイシング)
μm(マイクロメートル:mmの1/1000)
レベルの精度で小さく切ることが可能
です。



Kezuru

薄く削る技術(グラインディング)
5μmレベルまで均一(厚さのばらつき
1.5μm以内)に薄く削ることが可能です。



Migaku

鏡のように磨く技術(ポリッシング)
薄く削られた素材の強度を高めるため
に、サブミクロン(μmを更に下回る精
度)単位で磨き上げることが可能です。



アプリケーション大学

自分のキャリアは自分でプロデュース

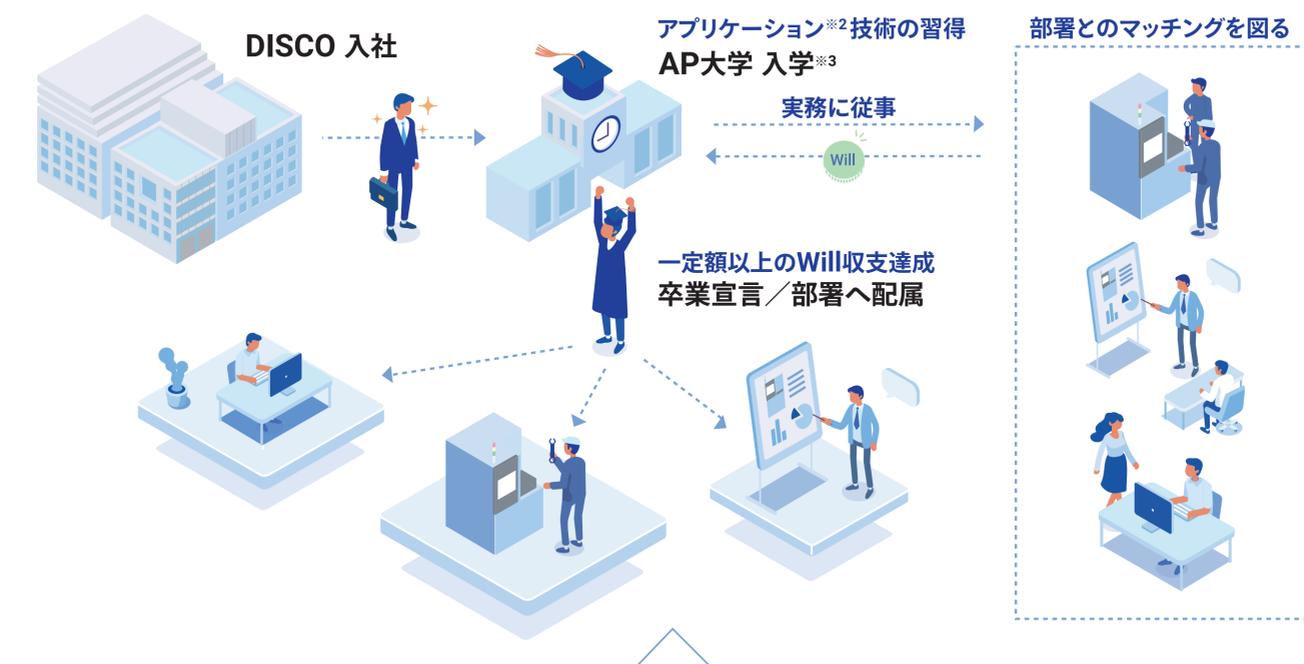
新卒総合職入社者のうち、本社および工場での新人研修を修了した者が“アプリケーション大学（以下AP大）”に配属されます※1。AP大では、ディスコの事業ドメインである「高度なKiru・Kezuru・Migaku技術」の核ともいえるアプリケーション※2について学ぶことを必修としています。それ以外、社内にあるさまざまな仕事の中から何を選択し、どのようにAP大期間を過ごすかは各自の自由です。その中で本当に自分が興味のある仕事を見つけながら配属先を選択していくので、学生時代の専攻や文系・理系といった括りに関わらず、自分のキャリアを自分でプロデュースすることが可能なのです。受け身ではなく、自分で考えて動き出すことで、自分らしい働き方を手に入れることができる環境がディスコにはあります。

※1 新卒事務職入社者はJ短大、新卒技能職入社者はG高専に配属。基本的な活動目的はAP大と同様ですが、卒業要件(下記参照)が異なります。

※2 ディスコの「装置」「加工ツール」と「加工条件」を組み合わせることで最良の加工結果を導く技術

卒業までの道

卒業には定められた卒業要件を達成することが求められます。卒業要件を達成し“卒業宣言”をすることで、部署からの配属オファー対象となります。オファーに合意することで、部署へ正式配属されます。



アプリケーション※2技術の習得
装置、砥石、加工条件の最適な組み合わせを、装置を使って検証します。習熟度を測るため、AP大卒業には社内資格が必要です。

部署とのマッチングを図る
自らアポを取り、実務に従事しながらマッチングをはかっていきます。理想のキャリアの実現のためには、自身と部署の合意が必須です。

一定額以上のWill収支達成
仕事の対価として得たWill収支合計が一定額以上に達することが必要です。AP大の卒業要件達成までの平均期間は1年半～2年ほど※4です。

※3 本社および工場での新人研修を修了した者のみ ※4 J短大は半年～1年ほど、G高専は1年～2年ほど ※5 J短大、G高専は必須ではなく任意

数字で見る AP 大

AP大卒業要件:収入を得る部署数

15以上

AP大の卒業要件には、「15以上の部署からWill収入を得る」という項目があり、様々な部署で業務を経験した上で配属先を決めることができます。

文系から理系職種についての人

35%

文系出身でもエンジニアとして活躍している社員は多く、多様なキャリアの可能性があります。また、理系出身でも学生時代の専攻とは異なる技術分野や、文系職で活躍する社員もいます。

外国語学部 → アプリケーションエンジニア
経済学部 → ソフトエンジニア

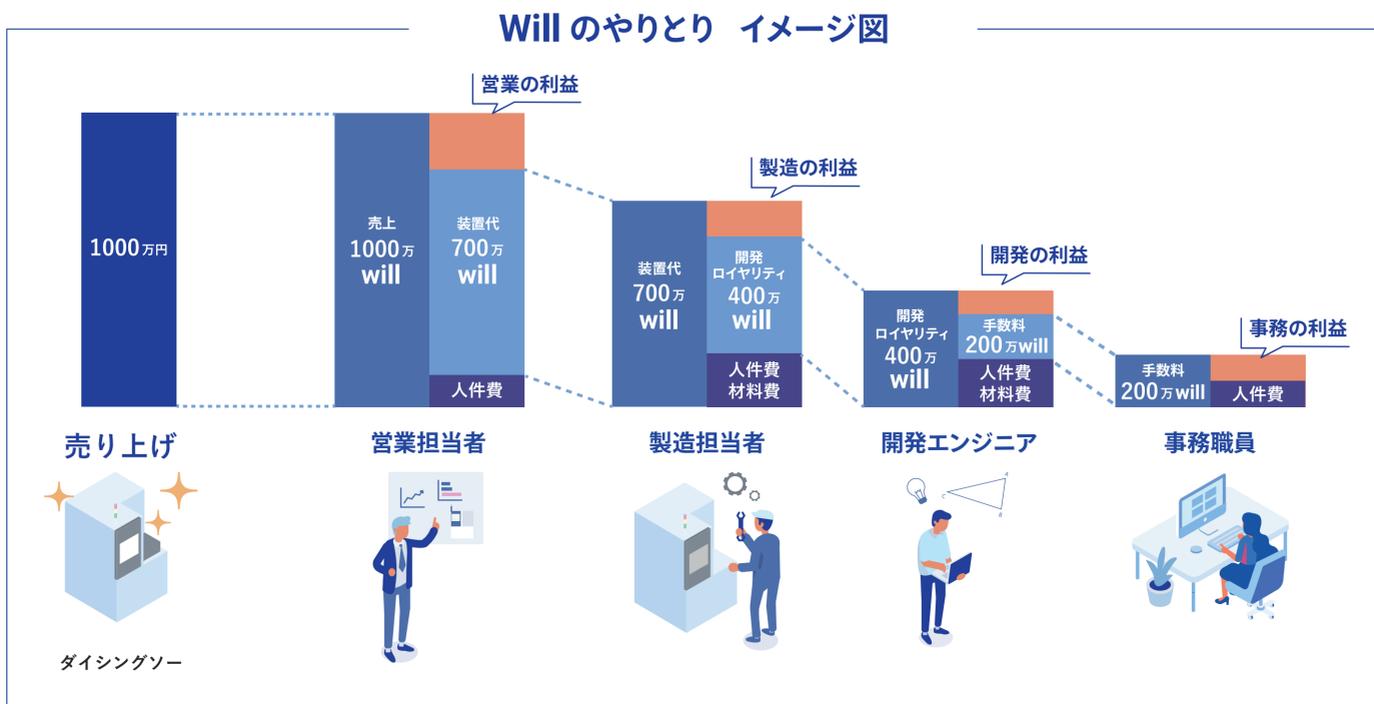
※2012年～2018年のAP大卒業者を対象

Will

ディスコ独自の個人別管理会計

ディスコには、独自の管理会計「Will会計」という仕組みがあります。これはWill (=意志) という社内通貨を用いて業務やサービス、備品等を金額換算し、収支を管理するものです。これを社員一人ひとりに適用し、個人で収支を管理する仕組みを「個人Will会計」と呼んでいます。

Willによる収支の見える化により、社員は客観的・定量的に自分のパフォーマンスを把握することができます。またWillの仕組みの下では、自分の意志で業務選択ができ、他社員との業務のやりとりにおいては、互いに納得した上で業務を遂行できます。つまり、社員は自己の「意志」で仕事(キャリア)のデザインが可能になり、結果的に社員の「やりがい向上」にもつながっています。



IB - 社内クラウドファンディング -

Will会計の下での業務の代表的な進め方が「社内オークション制度」。これは公開された仕事を「これくらいのWillで担当したい」という意志を示して落札する制度です。社内「オークション」とある通り、人気がある仕事は安くてもやりたい人が多いので価格が下がっていき、逆に人気のない仕事は価格を上げないと落札してもらえません。出品者と希望者両者の合意によりWillの価格が決定し、仕事がスタートします。



DISCA と Will 賞与

「DISCA」は、個人Will 会計の収支に応じて配分される社内ポイントで、正確には「経費決裁権」のことです。DISCAを使えば、業務用の備品の購入や社内フィットネス利用、社員同士の会食等の経費を、上長の承認を介さずに決済することができます。

「Will賞与」は、賞与の内のWillに連動する部分のことを指し、所属部門や個人のWill 収支に応じて金額が増減します。

